

事例 11

「文教のまち にしはら」 学生たちの負担軽減のために



事例紹介 西原町

権限移譲事務

旅券法に基づく事務

移譲受け入れの経緯

西原町は、琉球大学をはじめ、沖縄キリスト教学院大学、沖縄キリスト教短期大学の3つの大学が立地しており、多くの県内外の学生や留学生が居住しております。

留学や海外旅行など海外渡航する学生も多く、「文教のまち にしはら」として、勉学に励む学生をはじめ広く住民のパスポート申請に係る負担を軽減できるよう、平成27年度からパスポートに関する事務の移譲を受け入れることとしました。



琉球大学（西原町）

取組・効果

西原町が処理した申請等の件数

平成29年度	971件
平成30年度	1,158件
平成31年度	967件
令和2年度	124件

（令和2年度は新型コロナウイルスの影響により減少）

移譲後は、毎年1000件前後の申請があり、学生らをはじめ住民に多くのニーズに応えることができたと考えています。

申請手続きにおいては、仮受理票を渡す際に、交付予定日等について詳しく案内しているほか、収入印紙、県収入証紙の過誤購入防止のため、見本画像を提示したり、購入場所等について案内するなど、丁寧な対応を心がけています。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、旅券の申請が大幅に減少しましたが、事務処理件数が減少した分、学生をはじめとした申請者へ、より丁寧な案内を行い、入念なチェックと迅速な事務処理に努めています。

住民の声

身近な町役場で手続きができるようになったため、旅券の申請と受取のために町外へ行く必要がなくなり、便利になったとの声が住民の方から多く寄せられています。

（担当課：総務部町民課）

令和4年3月作成